

県と県議会における一連の疑義に関する全容解明と福岡県政への信頼回復並びに適正な運営を求める意見書

県と県議会は、二元代表制のもと、それぞれが県民の信託を受け、県は行政を執行し、県議会は議決や監視を通じて県政をチェックする役割を果たします。互いに緊張感を持ち、適切な役割分担と連携を図りながら、県民の暮らしと福祉の向上、県政への信頼確保に努めることが求められます。

そのような中、福岡県と県議会においては、公金の不適切な支出等が連日報道され、県民は強い疑念と不信感を募らせています。予算編成における付度、特定事業への過剰な予算措置、高額な海外視察、さらには県議会の海外視察費用の随意契約問題、県職員の議会に対する異常な対応、政務活動費をはじめとする議会関係経費の妥当性など、県税に支えられる県政運営の公平性と透明性を疑わせる事例が相次いでいます。加えて、監査制度についても、不信感が生じています。

県は高額な海外視察や県幹部職員の組織的な政治資金パーティー券の購入について、また県議会は正副議長ポストをめぐる金銭授受疑惑について、第三者委員会を設置し調査・検証を行うこととされていますが、根本的な解決には至らないおそれがあります。県と県議会の関係を第三者の視点から徹底的に検証し、権力関係や意思決定の在り方を抜本的に見直すことが必要です。

また、本市議会としても、公金の適正な執行を監視する地方議会の責務から、この事態を看過することはできません。

よって、本市議会は福岡県及び県議会に対し、県民の信頼回復及びガバナンスの健全化に向け、下記の事項を速やかに履行されるよう強く求めます。

記

1. 福岡県と県議会の歪な関係についての全容解明

県と県議会との関係、意思決定の過程及び組織運営の在り方についても第三者委員会の調査対象とし、実態の全容解明を行うこと。

2. 県民への説明責任を果たし、制度改革と再発防止策の実施

検証結果に基づき、課題を解決するための抜本的な改善を図るとともに、実効性のある具体的な改善策を明確に示し、速やかに改善をすること。さらに、政治倫理条例を早期に制定するとともに、改善策の実行状況を検証し、県民に対して説明責任を果たすこと。

3. 関係者の責任の明確化と調査の徹底

一連の問題について、関係者の辞職・退任等の有無にかかわらず、関係者を含めた調査・検証を継続し、事実関係、意思決定の過程及び責任の所在を明確にすること。

4. 返還・是正措置の実施

検証結果に基づき、法令・条例の違反や不法行為等に該当する事象が確認された場合には、返還要求等法的措置を含めた厳正な対応を行うこと。

以上、地方自治法第99条の規定に基づき、意見書を提出する。

令和8年9月18日

福岡県小郡市議会

福岡県知事
福岡県議会議長